

令和2年度 事業所によるサービス自己評価

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	総括
環境・体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	3	0	法令を順守し、10名定員の適切なスペースを確保しているが、児童間の適切な距離が保たれていない場合がある
	② 職員の配置数は適切であるか	5	3	0	配置人員のスキルバランスが適切でない場合がある
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	0	0	バリアフリーにはなっているが、利用児童の状態に応じ、随時見直しを図っていく
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	2	0	職員会議にて事業全体や個別・集団活動プログラムの目標設定と振り返りを行い、業務改善と意識向上に努めている
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	2	0	保護者等向け評価表のアンケートを実施し、意向を把握し率直にふまえ、業務改善に努めている
	⑥ この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	0	インターネットで公開している
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	8	今年度中に第三者評価を行い、評価結果を踏まえ業務改善につなげていく
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1	1	法人の全体研修の他、事業部内、事業部間の研修を積極的に受講している。
適切な支援 の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1	0	アセスメントやモニタリングを年に2回実施し、課題を分析し、計画を作成している
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	2	0	個々の障がいに応じたアセスメントツールの利用しつつ、他事業の事例を参考にしている
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1	0	毎週のプログラムの内容を立案見直しを行っている
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	3	0	毎月、固定化しないように、職員で案を出し合い子ども全員が参加できるよう努めているが、十分ではない
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	3	0	平日、休日、長期休暇に応じて活動内容を検討し、支援している
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	2	0	児童の適性に合わせた集団活動が充分とは言えない。各方面の意見を踏まえ改善していく
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	2	1	支援開始前には、活動内容支援の内容等を打ち合わせをし、役割分担を確認している
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2	1	支援終了後の、打ち合わせ、気付き等を職員全体で、情報共有が充分ではない

関係機関や
保護者との
連携

⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	1	0	経過記録やヒヤリハット等の記録に努めているが、職員全員の意識合わせが充分とは言えないため、研修などを活用し、啓発を図る
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	2	0	年に2回モニタリングを行い、見直しを行っている
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	4	4	0	自立に向けての支援や創作活動は行っているが、高齢者との交流、地域との交流が充分とは言えなかった。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	0	管理者や、児童発達管理責任者がサービス担当者会議に出席している
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	1	0	職員全体で学校の送迎時に情報を共有しているが、スピーディで正確な対応が不足している感があるので、定例会等で改善を図っていく。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	3	0	現在医療的ケアが必要な子どもはいないが、随時自己啓発のための研修、勉強会に参加している
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	3	0	情報共有が充分とは言えなかった。法人内での情報共有は随時行えた。
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	3	0	学校を卒業し、障害福祉サービス事業所等へ移行した児童の情報共有は今後も密に行っていく必要がある。
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	0	1	児童発達支援センターや発達障害者支援センターの研修参加が充分ではなかった。Eラーニング等の教材を活用し、スキルアップを図った。
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	1	2	機会が充分とは言えなかった。子育て関連事業部と連携し、機会創出に努める必要がある。
㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	1	2	積極的に参加し、地域の同事業所との連携や情報交換を行っているが研修や事例検討等の職員参加率の向上が課題
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1	0	送迎時、面談、連絡帳などで、子どもの状況や課題等を密にお伝えするよう努めているが、何気ない仕草、行動を発達の過程として大切にしている。
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	3	0	法人全体研修などで対応力の向上を図れるよう努めている
⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1	0	契約時、改正時にお伝えしている

保護者への
説明責任等

非常時等の
対応

③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1	0	送迎時や連絡帳、その都度の問い合わせに解決に向けていけるようサポートしている
③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	2	1	父母の会（保護者会）実施できていないため、新たな生活様式を踏まえ対応が必要
③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0	苦情についての対応の体制整備については、利用契約書・重要事項説明書に記載し周知をしている。苦情があった場合には迅速に対応を行い、信頼を維持していく努力を行っている。
③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	2	2	情報発信が充分に行えなかった。役割分担を見直し、細かな情報発信に努める。
③5	個人情報に十分注意しているか	8	0	0	個人情報の記載がある書類などは、鍵付書棚で管理し、管理責任者が適切に管理している。
③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1	0	日々の変化、気が付いたこと、発達、成長のための情報として大切に丁寧に伝えていく。
③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	4	2	充分に行えていない。開催手法、衛生管理等を見直し、形態を工夫して実現していくことが必要
③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	2	1	各種マニュアルは、職員がいつでも手に取り確認出来るようにしている。保護者に対しては対面のみでなく、Web等を活用して周知していく必要がある。
③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	4	1	毎年近隣消防署と協力し、避難・消火等の訓練を行っていたが、今年度は内部のみでの実施となった。開催方法を工夫するとともに、情報発信を見直ししていく。
④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	0	虐待防止マニュアルを職員がいつでも手に取り確認できるようにし、月に一度の職員会議で議題に上げるなどし、適切に対応をできるようにしている
④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	0	0	これまで身体拘束のケースはないが、今後やむを得ず身体拘束の必要性が考えられる場合、法人内での検討委員会に諮り、さらに保護者にご理解頂き了承を得た上で放課後等デイサービス計画に記載する。
④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	1	0	食物アレルギーのある子どもは現在いないが、随時、ヒアリングと観察を行い、意思の相談のもと対応する。また、宗教上の配慮が必要なケースも保護者と相談し対応している

④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	0	小さなことでもヒヤリハット状況報告書に記入してファイリングし、職員がいつでも手に取り確認できるようにしている。又、職員会議でも共有をしている
----	----------------------------	---	---	---	--

